

同窓会名簿の刊行によせて



同窓会会長 片山 幸一

平素より同窓会会員の皆様におかれましては、同窓会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度で創立30周年を迎えた事は、誠に慶びにたえません。

思えば、昭和48年4月、愛知県立碧南高等学校より機械科を分離独立して開校以来「人成って技育つ」の校訓のもと工業技術の目覚ましい進歩や発展などの時勢の変化に対応しつつ、今日までに七千余名の有能な人材を世に送り出し、地元はもとより全国各地において素晴らしい活躍をみるに至っております。この間、各方面からの多大なご支援を賜りました事を深く感謝申し上げます。

この記念すべき節目にあたり、本校の一層の充実と発展を祈念し、同窓会・PTA・学校の三者による30周年記念事業実行委員会を設け、記念事業を計画いたしました。この中には、記念誌の刊行・同窓会名簿の刊行・国際交流事業の支援・風力発電装置の設置等多くの記念事業を計画いたしました。

中でも国際交流については、20周年から始まりました、アメリカ、エドモンズ・ウッドウェイ高等学校から変わり、現在では同じエドモンズのメドウデール高等学校となり、交流を通して互いにホームステイしながら、グローバル化に対しての教育を行ってきています。一人でも多くの在校生を派遣したいと願っています。

そして、もう一つの事業として風力発電装置の設置があります。これは、現在、学校が太陽光発電で、油ヶ渚の水の浄化をしております。そしてさらに自然にやさしいエネルギーということで、風力発電装置の設置を行い電気を起こし、いち早く生徒に身近に感じてもらいたいと思います。またそれが学校のモニュメントになれば幸いです。

同窓会会員も今では、七千名を超え30周年を記念して同窓会名簿を発刊いたしました。そして、この名簿をもとに同窓会活動がますます活性化し、会員相互の絆を一層強めていきたいと思っております。

終わりに、同窓会会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念して30周年記念同窓会名簿発刊のあいさつとさせていただきます。

(平成14年11月記)